

# A-72 $\alpha$ -チャコニンの分離および定量について

京都女大家政 ○坂田由紀子  
太田 馨

1. ジャガイモのステロイド系アルカロイド  $\alpha$ -ソラニンの分離および定量に関しては多くの研究があり、1955年 Baker らが  $\alpha$ -ソラニンについて硫酸-ホルマリン発色により比色定量を行なっている。1954年 Kuhn らによって  $\alpha$ -ソラニンと同族体の  $\alpha$ -チャコニンが発見されたがこれについての比色定量が明かでないのでジャガ

イモのアルカロイドを分離し， Baker 法に準じて  $\alpha$ -チャコニンの比色定量法に関する基礎的実験を行ない，又各種クロマトグラフィーの分離能について研究を行なったので報告する。

2. Kuhn らの方法でアルカロイドを抽出し，これをカラムクロマトグラフィー薄層クロマトグラフィーにより分離し，その分離能を研究し Baker 法による定量条件について検討した。

3.  $\alpha$ -チャコニンの吸収極大は  $\alpha$ -ソラニンと同様 570  $m\mu$  であり，発色度は 60 分で最大となった。温度により波長，発色度に影響のあることが判明した。又クロマトグラフィーによる分離については，いずれも単独で用いるより薄層クロマトグラフィーとカラムクロマトグラフィーを組合わせる方が有効である。